

群馬県議会 フォーラム群馬

vol.4

後藤かつみ

県議会だより

平成20年度予算が可決



連合群馬と協力県議団が「低所得者、失業者等の就労・生活支援の充実を求める要請書」を提出

県債残高の早期軽減を

健全財政ラインを堅持

若者・子ども達の将来のために、現在1兆円近くにも上る県債残高を早期に軽減していくことが最優先の課題です。

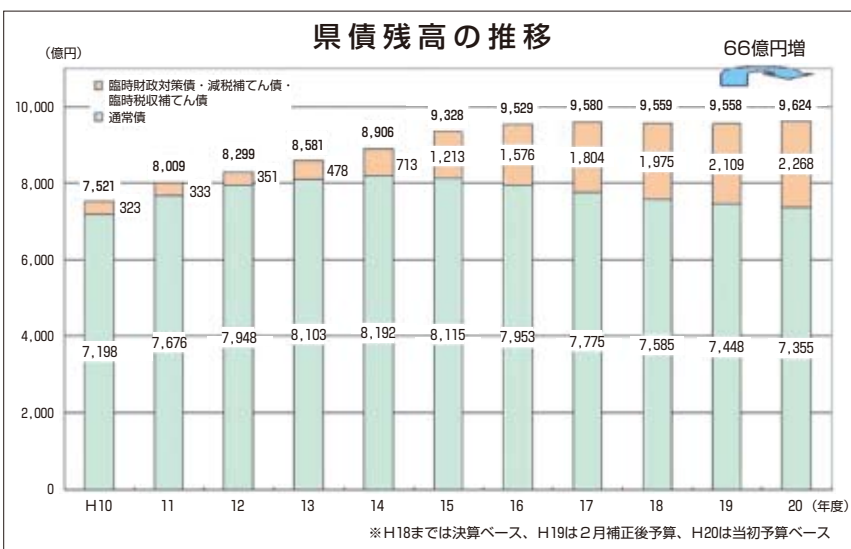
平成20年度予算では県債残高自体は前年度比66億円増加

するものの、通常債(建設事業債等)ベース(表の緑部分)では93億円減少する見通しです。

フォーラム群馬は、実質的な県の責任分である通常債ベースでの残高を増やさなかったことに一定の評価しつつ、今後も、最低限このラインは堅持すべきであること強く主張しました。

弱者の立場に立った就労・生活支援を要請

連合群馬と協力県議団は2月25日、「低所得者、失業者等の就労・生活支援の充実を



県債残高は66億円増加するものの、通常債(建設事業債等)ベースでは93億円減少する見通し

求める要請書」を知事に提出しました。本県においても、原油高等による物価の上昇、ワーキングプア層の拡大など県民のくらしへの不安は増大する一方です。

県議団は、望まずして「弱者」の立場に立たされていく人々の立場に立った支援策の充実を強く要請しました。要請を受けた茂原副知事は、「予算編成の中で前向きに検討していきたい」と回答しました。